

市政へのご意見・ご感想をおよせください 



鈴木ゆうじ
元八王子町 2-3323-8
☎ 669-7058



アオヤギ有希子
館町 1097-1-2-901
☎ 657-2786



市川かつひろ
東浅川町 686-1
☎ 666-5276



石井ひろかず
北野町560-2岡部コーポ106
☎ 649-2809

党市議団が提案！

おたふくかぜワクチンの定期接種化を求める意見書採択

青柳有希子市議が、おたふくかぜワクチンの早期の定期接種化（無料化）をもとめる提案説明を行い、賛成多数で採択されました。

日本小児科学合同調査委員会の調査では、おたふくかぜ罹患後に難聴や重篤な後遺症があると報告され、予防接種の必要性が訴えられています。しかし接種費用が高額なことや後遺症の認知が不十分のため接種率は3割です。小児や免疫のない成人からおたふくかぜの重症化や後遺症から守るよう予防接種化（無料化）に向けて引き続き取り組みます。



3か月通行止めとなった戸沢峠崩落現場

党市議団は被害現場を調査し、鈴木ゆうじ市議が一般質問で、警戒区域に指定されていない公園法面や建設残土置き場の土砂崩落の原因究明と、他の残土置き場の安全確認を求

第4回定例会では10月22日に本市を通過した台風被害の復旧のための予算が計上されました。大塚ゆざわ公園の土砂流失による人家被害、加住小学校の給食室破壊、南浅川堤防の崩落、美山街道戸沢峠建設残土の崩落による通行止め、その他公園緑地の土砂崩落30か所、学校校舎の雨漏り80か所などの災害が発生しました。



大塚ゆざわ公園・陽光台緑地の崩落現場

めました。党市議団は戸沢峠の土砂崩落の危険性を、これまで指摘してきました。安全だと放置してきた行政の責任は重大です。青柳有希子市議が補正予算案の代表質疑で、公有地からの土砂崩落による人家被害について、完全復旧と共に損害賠償の責任を追及。しかし、市は「自然災害は賠償の対象ではない。管理瑕疵があるかが問題だ」として責任は直ちに認めませんでした。党市議団は、行政が手を加えた公有地からの土砂崩落に対し、市の賠償責任をさらに求めていきます。

台風被害

市の賠償を求める



日本共産党市議団は、昨年11月21日、来年度予算と市政運営に関する16項目の重点要望書を市長に提出しました。要望書では、市の公共料金や国保税の値上げを行わないこと。子育て支援・教育では、認可保育園・学童保育所の整備・温かい中学校給食の実現・小学校給食費の無償化・給付型奨学金の更なる拡充、台風被害で80校にも及んだ校舎の雨漏りへの緊急対策・教員の多忙化対策。介護保険では、特養待機者解消へ施設整備、まちづくりでは、企業・事業者主導から民意を活かしたまちづくりへの転換。物流拠点整備の中止。その他に、雇用の創出・公契約条例の制定・図書館行政・再生エネルギー普及・平和行政の推進などを求めています。市長から、中学校給食は7つの給食センターで温かい本格的な給食を今後3年間で実現したいと発言がありました。党市議団は、議会質疑で八王子産の食材の活用、小学校の自校方式とすでに行われている中学校の親子方式の維持を確認し、学校給食法に基づく温かい中学校給食の1日も早い実現を求めました。要望書はどれも市民の声に基づく内容であり、これからも実現のためあらゆる機会に求めていくことを市長に伝えました。

長年の要望実現！

平和首長会議 市制100周年にあわせ加盟求め実現

平和首長会議は、核兵器の廃絶と飢餓や難民などの問題の解決を目的にし活動しています。党市議団はくりかえし本市も加盟するよう求め、市制100周年事業に合わせ早期に加盟手続きを行うよう求めてきました。今後の核兵器廃絶運動を大いに励ますものです。

温かい中学校給食の実施を約束

2018年度予算と市政運営の要望書提出

物流拠点整備

説明求め2つの請願 自民党等が否決に

貴重な里山天合峰を崩してつくる物流拠点事業について、川口の住民と宝生寺団地自治会会長らが2つの請願をそれぞれ提出。都市環境委員会で審議され、「一度も市から直接説明がされたことがない、住民に重大な影響が出る計画であり説明すべきだ」と請願者らが趣旨を訴えました。

鈴木ゆうじ市議は、都知事意見でも住民に説明することを求めていることや、市もアセス評価書で「これから説明する」としながら説明会を拒み続けていることを厳しく追及し、採択を求めました。しかし自民党は請願にふさわしくないなどの理由で公明党、市民・民進クラブと共に反対し否決しました。

傍聴者の声

美山町・新千明さん



えっ！否決？
「説明会を開いて下さい」というあたりまえの要望にあえて請願権を行使しなければなら

いななんて何てこと！市民の願いを「聞く力」のない議員に怒りいっぱいです。

自治体の努力で保険税値上げストップを

市は10年連続値上げ案示す

安倍政権の社会保障切り捨て政策の一つとして、今年4月から、国民健康保険の制度が変わり、財政運営の主体が区市町村から都道府県になります。これにより、八王子市でも加入者が払う保険税が大幅に上がるようになります。国や東京都は、保険料負担を軽くするために区市町村が出している補助金をやめるよう求めています。東京都は来年度に補助をやめた場合、1人あたり平均で年11万8000円（2016年度）が15万2000円と、1・3倍、3万4000円も値上げされる試算を公表しました。それに基づき市は、国民健康保険運営協議会（昨年12月14日）で10年で補助金を解消するため、来年度から10年間、毎年およそ4%ずつ値上げする試算を提示しました。しかし市は、これまでも2014年11%、2016年度9%の値上げを行っており、これ以上の市民負担増は耐えがたい状況です。

八王子市の国民健康保険には退職直後の高齢者、非正規労働者、無職者が多く加入しており、65歳以上の加入者が全体の約4割を占めています。また所得のない人も保険料が設定されているため、低所得者、中間層での滞納者が多く、滞納者の79%が200万円未満の所得です。「払いたくても払えない」「保険証がなく医療にかかれない」事例が増えています。また、加入者家族の年齢や所得にかかわ

らない「均等割」保険料も重く、子育て世代等には厳しいものとなっています。社会保障である国民健康保険には国、都、市の公的な補助が必要で、市は国や東京都に財政負担を求めると同時に、一般財源を投入し、これ以上の保険税の値上げを抑えるべきです。

次回、八王子市国民健康保険運営協議会は、1月30日19時から本庁舎で行われます。ここで保険税額の答申案が出されます。



東京都に要請する青柳有希子市議

都の試算による八王子市の保険料 (単位:円)

▶65歳以上単身の場合

年収	現行 (年額・円)	値上げ後 (年額・円)	増減 (円)	のび幅
100万円	11,700	16,600	4,900	1.41倍
200万円	64,500	90,100	25,600	1.39倍
300万円	143,300	198,600	55,300	1.38倍
400万円	201,900	279,100	77,200	1.38倍

▶45歳夫婦と子ども2人の場合(収入は一方のみ)

年収	現行 (年額・円)	値上げ後 (年額・円)	増減 (円)	のび幅
100万円	91,600	128,600	37,000	1.40倍
200万円	167,300	231,600	64,300	1.38倍
300万円	282,200	390,200	108,000	1.38倍
400万円	382,500	528,400	145,900	1.38倍

※市は毎年値上げし、10年間で上記の保険料にしようとしています。

国保のご相談は お気軽にお寄せ下さい

日本共産党八王子市議団(控室)
☎ 620-7317 FAX 626-3398

日本共産党八王子地区委員会
☎ 642-6344 FAX 646-8055

